埼玉県滑川町における餅なし正月

馬場美智子

東京学芸大学環境教育実践施設

はじめに

正月の雑煮に餅は必需品と思われているが、全 国的に「餅なし正月」という民俗事象が散見され る。坪井洋文(1979)は、多くは餅の代わりにサ トイモ、ナガイモを雑煮に入れるという事例(イ モ正月)に注目し、稲作以前の事象との説を出し、 これが餅なし正月においては主流の説となってい た。これに対して、近年関東・甲信地方において は雑煮の代わりにウドンを食べることが多い(影 山・2000)との研究がなされている。これをウド ン正月と呼び、①ウドン一辺倒で忌避することが まったくない「山梨型」②餅なし正月の一形態と して芋正月などと併存し、餅を忌避する傾向のあ には国営武蔵丘陵森林公園が広がる。町の中央を 滑川が、南東部を市野川が流れ、かんがい用水と して約200個のため池が点在。滑川を境に、北部 は農村地帯、南部は住宅と工業地帯。人口は約1 4, 300人。

調査方法

聴き取り調査 (60歳以上の方を対象に)

結果および考察

22 名の方から餅なし正月の事例を聞くことができた。その結果、滑川町では雑煮の代わりにウドンを食べる家が多く(図1)、夜はとろろ汁をご

る「北部関東型」の2つに分けられる(影山・2000) という。しかし、両者を比較する視点からの研究 は少ない。そこで本研究では、上記の2つの研究 を踏まえ、調査地における餅なし正月の一形態を 明らかにすることを目的とし、餅なし正月の事例 について調査を行った。

研究の方法

調査地・・・埼玉県比企郡滑川町。滑川町は、埼玉県のほぼ中央部、首都60km圏に位置する。東西約4.8km、南北約7.2km、面積約29.71km。全町域の60%がなだらかな丘陵地から成り、北東部飯と共に食べる家が多いということが明らかになった(図2)。また、餅と共にウドンを忌避するという事例もあったことは興味深い。このように餅と共に他の食物も忌避するという事例は他地域でも確認されている(※1)。しかし、今回の調査で、現在も餅を正月に食べないということを続けている家は減少しているということもわかった(図3)。(※1「イモと日本人」坪井洋文・1979より)

図1. 餅の代用物(元旦朝の儀礼食)

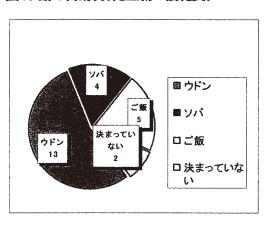


図2. 三が日夜の食事

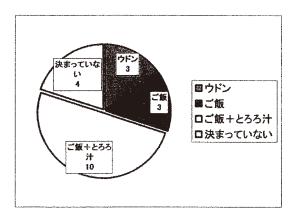
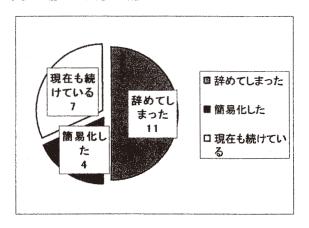


図3. 餅なし正月の減少



まとめ

今回の調査は非常に狭い範囲で行なったため、結果から十分な他地域との比較、類型化はできなかったが、埼玉県滑川町における餅なし正月の現状を調べてみて、とてもおもしろい話を沢山聞くことができた。そして、まだ調べられていない地域にも興味深い事例があるのではないかと感じた。しかし、今回の調査でも明らかになったように世代の移り変わりとともに餅なし正月を伝承する家は減少する一方である。これを再び評価し直す作業は大変重要な価値を持つと考える。最後に資料として、今回滑川町で聞き取った事例をいくつか紹介する。

資料「特徴的な事例」

[事例1] 元旦は今でも餅を食べない。食べるとできものができると言われ、一切餅をいじらない。元旦の朝はヒモカワという幅の広い麺で、具は大根と人参を短冊切りにしたもので、それを干し柿でだしをとったしょうゆ味のつゆにいれて食べる。薬味はみかんの皮とフキノトウを使う。これは「1年間フキでありますように」との意味がある。神様には麺だけを箸で挟んで「神のボン」と言われる器にのせてあげる。2・3日の朝は雑煮を食べる。

[事例2] 暮れに餅はつくが三が日は食べてはい

けない。食べるとおできができると言われている。 30日に神棚にお供え餅をあげる。仏様には6つの 器にそれぞれ米と茶の葉と餅を入れてあげ、三箇 日は戸を閉めておく。

[事例3] 元旦は餅を食べられない。昔はこの家は4日が「セチの日」で、それまではウドンも食べられなかった。4日にはウドンやソバをうって食べた。餅は28日につく。元旦の朝はご飯を食べ、2・3日は雑煮を食べる。三箇日昼はあり合わせ、夜はとろろ汁とご飯を食べる。神様には年男が1日にはご飯、2・3日には餅を入れる前の雑煮をおたまですくって「ザッキ」という器にあげる。このザッキには7日までお供えをあげつづけて、その中身を七草粥に入れる。七草粥には七草という草(ナズナのことをいう)を入れる。その七草を少し水につけてとっておいて、その水に爪をつけて爪切りをすると百足や虫にさされないと言われた。[事例4]10年くらい前まで三箇日餅を食べなかった。昔は30日から食べてはいけなかった。

[引用文献]

滑川町役場(2005年3月28日) 「ようこそ滑川町ホームページへ」

http://www.town.namegawa.saitama.jp/welcome/